がんばろう

津波なんかに 負けない!

第332号 令和4年8月22日 大船渡市立 末崎地区公民館 電話 (F兼) 29-2955

獅子舞・権現様・虎舞について

なぜ獅子と狛犬が一対になり狛犬に角がつ いたのか

ライオン像が西域から中国に伝わったのは殷の時代によです。中国には神霊を邪悪から守護するという怪獣思想 があり、漢の時代にライオンと怪獣の中間の姿である「唐 獅子」となり、そして祖先を守護する霊獣として墓の前に おかれるようになりました。

-方「狛犬」の誕生ですが、中国では、龍や麒麟のよう こ実在しない想像上の動物がたくさんあり、その中に獬豸 (かいち)という猛獣がいて、この獬豸は頭に一角を有し、 (かいち)という猛獣がいて、 人が闘うところを見れば邪悪なほうに挑み、人の論争を聞 けば不正の方を噛み、正邪を分かつ獣であります。この考 えが狛犬に角をもたせることになったものと言われていま

また日本の「延喜式」(えんぎしき)の中に兕(じ)という 想像上の動物があり、この兕を狛犬と考えていたとも言わ れています

この兕とは「形は牛のようで、色は青黒く、あるいは青 角が一本で、重さが 2000 kg」とあり、南方の犀を想像 させるような説明がされています。(原文は難解なので平易 な文章にしました)

このように当時の人々は、獅子には唐獅子の姿、狛犬には獬豸 (かいち)や兕(じ)の姿を重ねて考え、狛犬には獅子 と違った色で頭上には一角を有する姿で表現されるように なりました

官制時代の内務省は官国弊社の狛犬の製作基準は「獅子 は、開口にして金箔を押し、毛髪には緑青を塗り、金の毛描を施し、狛犬は、閉口にして銀箔を押し、毛髪には群青 を塗り銀の毛描きを施す。何れも州浜型の台に据える」と 定めています。

古い時代には獅子と狛犬の区別をはっきりと このように. 分かれていましたが、時代が下がるにしたがって唐獅子の一対、阿吽の一対、雌雄の一対などと変化したものと思わ れます。(紀)

狛黒広 犬崎田 神町 左社 σ 角

知も安拡型り

り観



狛黒広 大崎田 神町 右社 宝の

型末 コ崎 口地 ナ区 ウ公 イ民 ル館 スは \mathcal{D} 感市 染内

あ状だ株型全

がの

お様ご点ル品皆 次止とつ一 まてかB→会さ日 願に長をとと様た第はして堂敬し「 いは寿贈菓しにだでや、もに老た中 申、のら子ては、すむ感感会会。止 「ら」うはれ ``ふ域 。止開がル感令る公 `のら子ては しご皆せ折オ、75 上理様て、リ9歳 。を染染すは す催猛ス染和さ民 るは威 得予さる 力4と館 げ解はいごジ月以 な防せ場ご 一控を の年セ長 程をすの年で最 こえ振っ強度ン会 まとじた長ナ18上すごめだ寿ル日の いのてで長 ミい末夕議 とるる と観はあ寿 とべつク新崎一が 協町き名バにご 力民ま簿ス、長 判点なりの 断から、皆 いきて口型町で8 たとこンコ敬開月 ののすのタ記寿 しらな間様 。3 才念の た中い違が ししと株口老催8

意しま開

つをち、にかいこは、 て運込ご向も皆たす、き氏に度へ山云へ 、, , 山けし様。べ市か館しのク演場て 、 , 下長ませを者設い 、にかのし催がべ公い年リ

い染つ

うか伺

と状いお

い況てい

らい

ご程申思足打様展る民で開たす域と 4 染々祭に

し催地

敬 乭 は 中 止

令のる文

をす来運

中る場営

止たのにか

すめ皆携らる、様わ、

に

Ł

和感人化向

`の衰

لح

★願た赦誠う祭古ためで 意し **コ**い、のにとにに皆出き町見て 一当に 申 ナに**注口** し理おしっをち 上解願訳 げ ま 持 っさしいれ交いを

<

Š

おま容

いる。このほれが残る 「はけでなく、 はなる」。 いる BA.5」。 いる BA.5」。 いる BA.5」。 いる BA.5」。 いる BA.5 I をおいる BA.5 I を ウ猛意 心イ威 どコ長配ルを 口 期さス振 そナ にれ 一る の後わるオっ 後遺たのミて 遺症つはクい て感口る 症 ので症染ン新

るが広をきど肝か症続感 るのて治 。終がたる、臓二状け染そ「ウ挙准豊 わった。ほ、新とるがれ持イげ教橋 たが大原。エヴロ やがるじでてイ准 新学因 新し。 続は続ルた授技 たとに な岡つ らてい免ぼ腸型したいで ないで かったなで 研山い てそい、感スのは術 ないて疫全 コ もが身腎ロ現れて「染がは後科、一の臓士れが、体」体、遺学 一染がは後科 大て、 いて、 、かかとる結 学 結 ウる後炎ので内感症大 となつ生細 の豊 果研橋 **、型**か いかぎ懸胞心イの遺症中あに染の学 うなの命に臓ルで症物でる残後原ののか細感感、スはと質ず。り、因原 を究技 スはと質ず 発チ術 因原 で感胞染染脳はないがっ 続少と田 表 | 科 いいう出と あ染に先でな け量し耕 しム学

いごおんん出けし様

だ申ざらでで演てれに さしいれ交いをごなは

い上また流る考準い

まげせ皆や皆え備と今

すまん様鑑様でさあ年 よすがに賞、日れらは

、ごはし文々てか開 は空、よ化稽いじ催

よ化稽いじ催

う体がや済もル教こ `なむすス授の との **な中かいよぐの**が研 るにかかう治脅感究 といっとだる威じの `つた そま時皆ららは新果 れでにさ心と をもウん配か「コら 軽残イがな `か口 症っル考い軽かナ原 でちスえん症っウ田

月さ

2 V

日

19

時

か

5

原

★ 使 民 勤 末 年 付館てかれ ら中全大コま例末わのめ崎か故をに頂らた令を卓 世止確をロす年崎世生て地ら村頂卓き `故和頂球 致と保受ナ、10町で涯頂区平上き球た地村4き台 しなのけウ町月民頂学き公成喜ま台い域上年まと 、イ民に**運**き習ま民28一し ととの喜らし 用 た_、 会す。業た書ま氏 しかんス動催中 具崎々郎に たら延感会さ に。記では 一地に氏亡 式 止 式区利ごく の今防染はれ 大末と2平 の 、て 切崎し年成 を公用家な 寄 に町て間27 寄民し族ら 付

IJχ

★だに注密こ消りな ううだル 日んQ無のをと心 いしをは 。 \ 意集と毒マいくとだまスこる**て** 君す・。 ` スよど大。だ感の。**は**: `をコ**落** でR料高続 。は考片 くコの度け震癒口語 9 だ | 落映て災しナ**奇** 子る密そ室クうい変後未染よ なえづ 危こ閉し内のによで遺知症う ド語像い後て禍席 らるけ うとでての着すうあ症のにに で配情るかいの なとら `らた中 きでに三換用るだる。に部つ 検信報 いか にあな密気、にが 索をセ東末だで な分いコ 一安な 近るらへに手は と易い ししン京崎く少 つがてロ 寄 。ぬ密努洗 `か て多はナ てまタ霞とたし いに らずさよ接めいやか しい、ウ 楽すーが交めで っ感そ 。が関流にも らう・るとはら まよまイ て染れ

で年止症 お度やの新お お*会書副理まにに 願令計記理事しお理ま 事長たい事た、 い和 致 4 長 て会 次が令 し年 ま度菅大及新

すか野和川沼

6

2

在

間

宜

L

田政眞

初行作

の開和武大大菅菅及鎌小尾細大熊菅菅高佐新滝村 4田和和野野川田松形川友谷原原橋々沼田上

浜原

方催 でれ、月 治東初博 江男 再五14 日 任選 で会大

方催年勘田田敏一政征進眞廣富信均健隆木眞享正 がれて治東初博 行喜 二行好弘 吾哉元作二吉

監碁三山西中門小梅小平平小中神細峰船理さ通 事石十根舘井之河神田南 細野坂浦岸河事れり

浦

細野坂浦岸河事れり規定地 \mathcal{O} ま役約致縁 他 し員第し団 た。 9 6 し末 6 し末 崎 事のた崎 公 益 会役 に7 員 参 が 加 決 當

• 規

監定

事に

がり

承次

認の

ょ

※参参参 事加加加 前申料資 申込 格 込当無末 加口 Ì 末受 者 3 新 2 崎付 全 9 沼 9 地に 員1ま 5 区 公申 で 民込

館

* 小綱天 和天 8 8 1 町 浦グ \mathcal{O} 場30円 民 ラウザ 誰 可場

日的和 にを町グ末 時開図の大学の地図の 交健ン区 流康ド公 、民 時 1 の増 ゴ館 ~ 造れが く親フ 大 り睦

をと

目融

会

デジタル公民館まっさき HP

れ議

http://www.massaki.jp/

デジタル公民館まっさき FB https://www.facebook.com/digitalmassak/